

# まち歩きマップ 3

## 「佐保姫伝説」をあるく 歴史街道散策路

ルートガイド

⑤道の駅いながわ

1080m  
16分



① 姫ヶ渚

150m  
3分

② スポーツセンター

730m  
11分



③ 楊津

2240m  
32分

④ くろまんぶ

800m  
12分

⑤ 天澤寺

290m  
4分

⑥ ふるさと館



コース周遊  
5.3km  
2時間00分



# 歴史街道散策路 コースの見どころ



## ⑤ 道の駅いながわ TEL072-767-8600 定休日：水曜日

「道の駅いながわ」は、地元産の安全・安心・新鮮な農産物の販売を通じて、地域農業の振興を図ることを目的に、平成12年11月5日にオープンしました。施設は「地域農業情報センター」「農産物販売センター」「そばの館」「トイレ」の4棟からなっており、そばの館では、つなぎを使わずそば粉だけで打ち上げる十割そばを体験いただける「そば道場」があります。また、「佐保姫公園」という「猪名川」の親水公園が隣接しており、暑い日には、川遊びを楽しむ子どもやファミリーでにぎわっています。

## ① 姫ヶ渚

万善地区には「佐保姫」という珍しい地名があり、その地名の由来にまつわる話が今に伝えられています。佐保姫伝説については表面に記載。

平成21年猪名川町商工会青年部によって案内板が立てられました。



## ② 猪名川町スポーツセンター TEL072-768-2277

緑あふれる自然の中に体育館・グラウンド・テニスコートが併設され、様々なスポーツを楽しむことができます。春には道路沿いに桜並木が広がり、地元のお散歩コースとして親しまれています。

## ③ 対津（たいのつ）・楊津（やないづ）

猪名川町万善字対津は木津や楊津とともに川津かわづがあったとされています。

津とは港を意味し、水量は今よりも豊富であったようで、山から伐り出された材木の集散地として利用されていたようです。

また、古代日本の地方行政区分に摂津国河辺郡（現在の猪名川町・川西市・宝塚市・伊丹市・三田市・尼崎市）がありました。河辺郡の中には8郷あり、その中の1つが、現在の猪名川町域の多くを含む奥河辺区域の楊津でした。しかしながら、この楊津という地名は鎌倉時代後期頃からは使われなくなり、代わりに木津・対津たいづが使われるようになりました。現在は地名としての楊津は残っていませんが、この歴史ある地名は、地域の小学校「楊津ようしん小学校」の名前に漢字を残しています。

この地内の川べりでは、冬の終わりが近づくと、ネコヤナギの花穂がつきはじめ、春の訪れに期待が膨らみます。



## ④ くろまんぷ（暗マンプ）

木津から林田に通じる津坂トンネルのことです。明治14年（1881）に柏原村の人が工事費1,175円で請け負ったのですが、固い岩盤、所々にある軟岩の崩壊で、大変な難工事となり、明治の隠れた偉業といわれました。石製で現在も通行可能なトンネルは、珍しいものと言われています。

## ⑤ 天澤寺（てんたくじ）

天平2年（730）東大寺の大仏建立等につくした行基ぎょうきが楊津院ようしんいんを建立したと伝えられています。楊津院は、行基が近畿一円に建立したとされる四十九院の一つであり、その後身が天澤寺だと伝えられています。境内にある石造灯籠は、応永10年（1403）年銘の入った御間おあいがた型春日灯籠とよばれる珍しい形態であり、昭和44年（1969）に県の重要文化財に指定されています。

## ⑥ 猪名川町立ふるさと館 TEL072-768-0389

昭和58年に開館した町の歴史や産業、昔の人々の暮らしを紹介する歴史民俗資料館。平成11年には猪名川の親水公園が併設され、ファミリー層をはじめ、多くの人に親しまれています。

